

第126回 岐阜市管内景況調査報告書(平成23年10～12月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成23年10～12月、平成24年1～3月期の見通し(平成23年11月15日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数93社、回収率 87.7%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成23年10～12月期)の管内中小企業の景況を見ると、業況DIと従業員DIのマイナス幅が拡大したが、在庫DIが大幅にマイナス幅が減少し改善した。

来期(平成24年1～3月期)の景況予想は、在庫判断DIと資金繰りDIのマイナス幅がやや拡大するが、他すべての項目のマイナス幅が縮小する見通し。

全業種

(前年同期比)

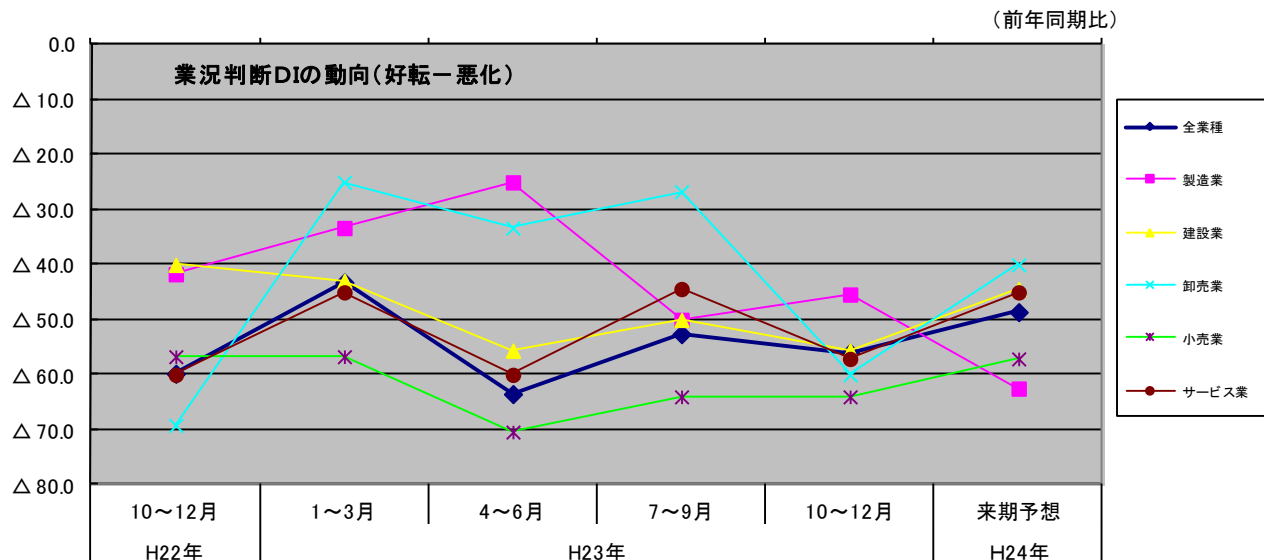
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
22年 10～12実績	△ 59.8	△ 47.2	△ 42.3	△ 56.8	△ 43.4	△ 10.2
23年 1～3実績	△43.2	△ 51.8	△ 33.3	△ 51.9	△ 33.7	△ 13.4
4～6実績	△63.5	△ 65.9	△ 40.4	△ 64.9	△ 50.0	△ 3.0
7～9実績	△52.6	△ 50.6	△ 33.4	△ 59.3	△ 45.5	△ 1.5
10～12実績	△ 56.0	△ 46.3	△ 24.0	△ 59.0	△ 40.8	△ 6.3
24年 1～3予想	△ 48.6	△ 44.5	△ 28.6	△ 54.1	△ 41.6	△ 3.1

1. 業況

全業種のDI値は、△56.0と前期(△52.6)に比べると3.4ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、今期より改善すると予想される。

業種別にみると、卸売業で大幅に悪化した。来期は製造業で悪化するが他業種では改善する見通し。

	業況判断DI(「好転」－「悪化」)		(前年同期比)			
	H22年 10～12月	H23年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	来期予想
全業種	△ 59.8	△ 43.2	△ 63.5	△ 52.6	△ 56.0	△ 48.6
製造業	△ 41.7	△ 33.3	△ 25.0	△ 50.0	△ 45.4	△ 62.5
建設業	△ 40.0	△ 42.9	△ 55.6	△ 50.0	△ 55.6	△ 44.4
卸売業	△ 69.2	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.7	△ 60.0	△ 40.0
小売業	△ 56.7	△ 56.7	△ 70.4	△ 64.0	△ 64.0	△ 57.1
サービス業	△ 60.0	△ 45.0	△ 60.0	△ 44.4	△ 57.1	△ 45.0



2. 売上(加工)額

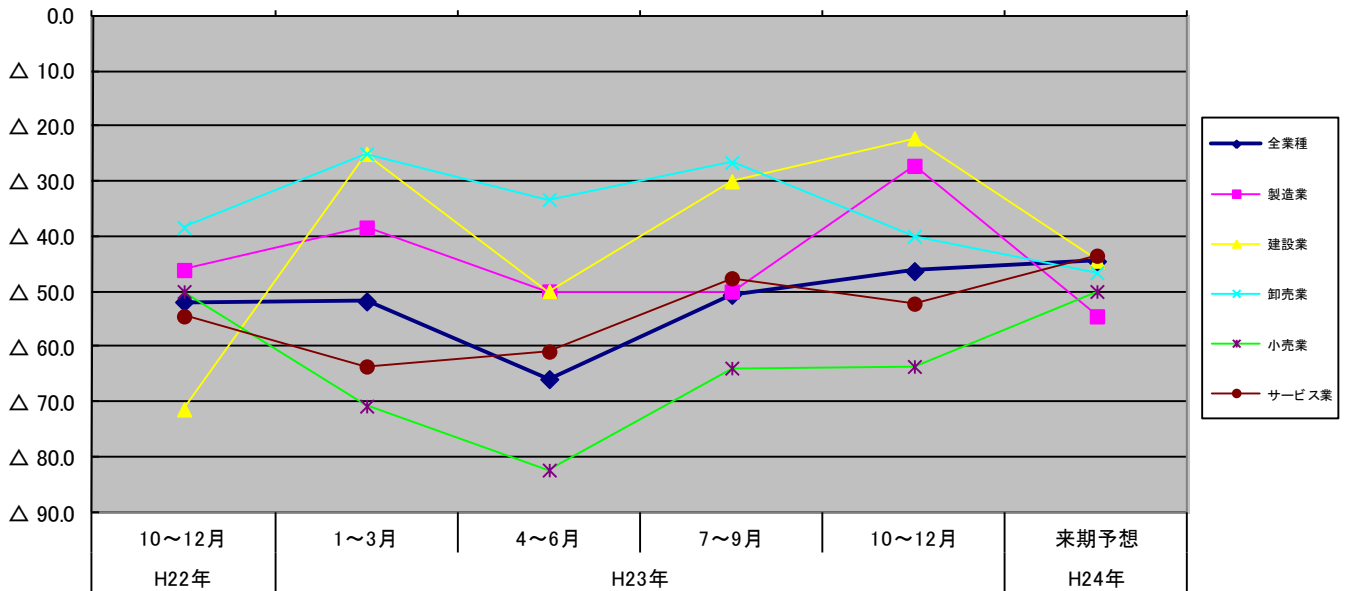
全業種のDI値は、△46.3と前期(△50.6)と4.3ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期も改善する見込み。

業種別では、製造業で大幅にマイナス幅が縮小し改善したが、来期は悪化する見通し。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H22年 10~12月	H23年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 51.9	△ 51.8	△ 65.9	△ 50.6	△ 46.3	△ 44.5
製造業	△ 46.1	△ 38.4	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.2	△ 54.5
建設業	△ 71.4	△ 25.0	△ 50.0	△ 30.0	△ 22.2	△ 44.4
卸売業	△ 38.4	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.6	△ 40.0	△ 46.6
小売業	△ 50.0	△ 70.8	△ 82.4	△ 63.9	△ 63.6	△ 50.0
サービス業	△ 54.5	△ 63.6	△ 60.9	△ 47.6	△ 52.2	△ 43.5

売上額DIの動向(「増加」-「減少」)

(前年同期比)



3. 採算(経常利益)

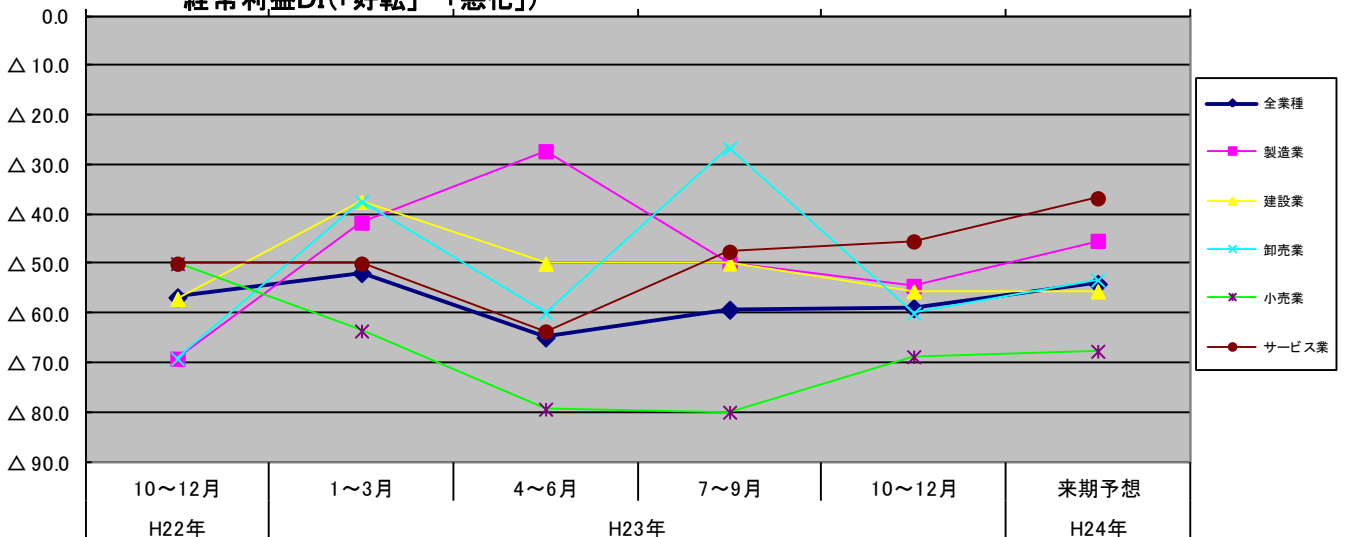
全業種のDI値は、△59.0と前期(△59.3)に比べ0.3ポイントマイナス幅が縮小した。来期も引き続き改善すると予想される。

業種別では、卸売業で大幅にマイナス幅が拡大し悪化した。来期は建設業を除く全ての業種で改善する見通し。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H22年 10~12月	H23年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 56.8	△ 51.9	△ 64.9	△ 59.3	△ 59.0	△ 54.1
製造業	△ 69.2	△ 41.7	△ 27.3	△ 50.0	△ 54.5	△ 45.4
建設業	△ 57.1	△ 37.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 55.6	△ 55.6
卸売業	△ 69.2	△ 37.5	△ 60.0	△ 26.7	△ 60.0	△ 53.3
小売業	△ 50.0	△ 63.6	△ 79.4	△ 80.0	△ 68.8	△ 67.7
サービス業	△ 50.0	△ 50.0	△ 63.7	△ 47.6	△ 45.5	△ 36.8

経常利益DI(「好転」-「悪化」)

(前年同期比)

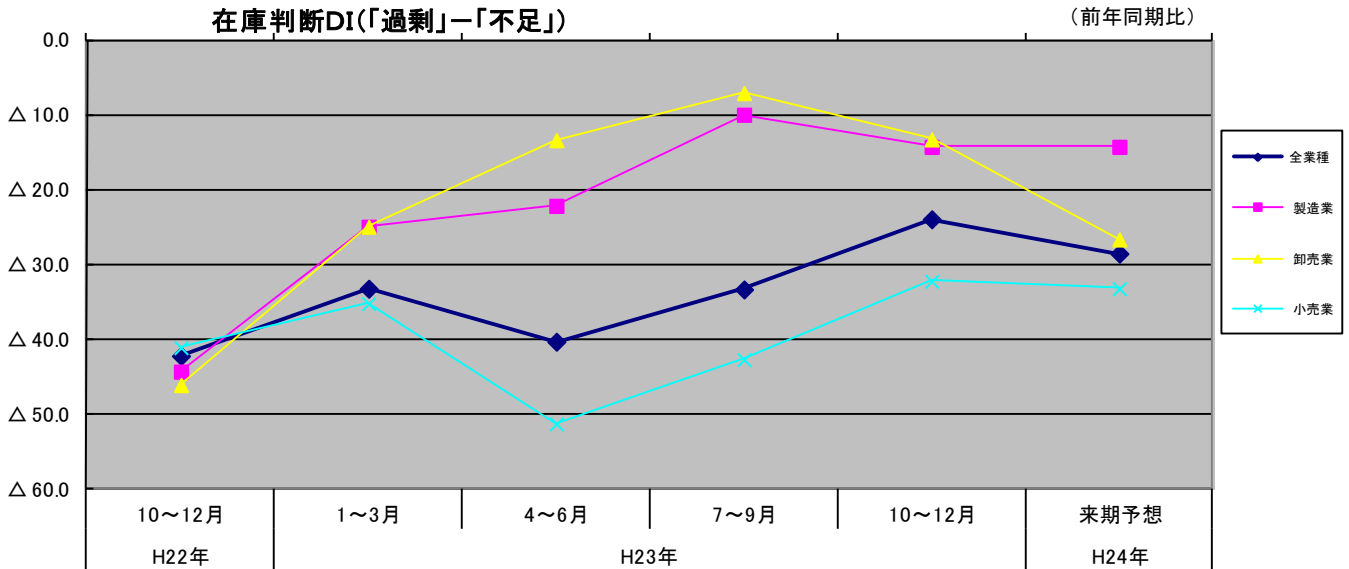


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△24.0と前期(△33.4)に比べマイナス幅が9.4ポイント縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が拡大すると予想される。

業種別では、小売業において大幅に改善しているが、来期は卸売業のマイナス幅が拡大する見通し。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H22年 10~12月	H23年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 42.3	△ 33.3	△ 40.4	△ 33.4	△ 24.0	△ 28.6
製造業	△ 44.4	△ 25.0	△ 22.2	△ 10.0	△ 14.3	△ 14.3
卸売業	△ 46.2	△ 25.0	△ 13.4	△ 7.1	△ 13.3	△ 26.7
小売業	△ 41.2	△ 35.3	△ 51.4	△ 42.8	△ 32.3	△ 33.3

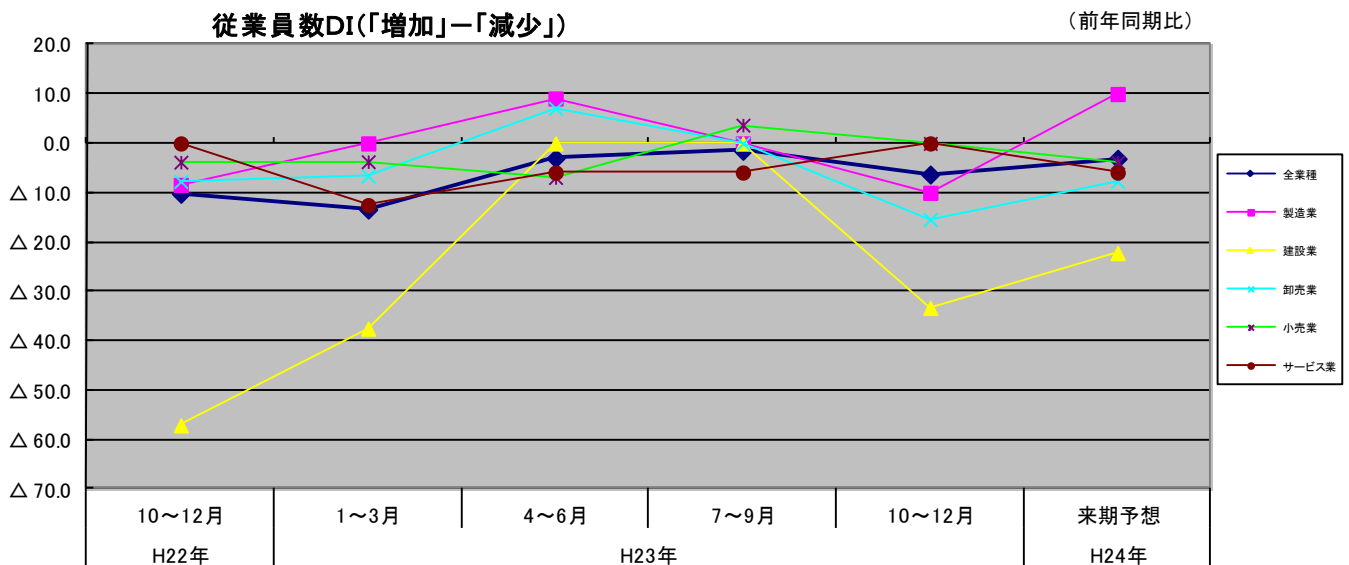


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△6.3と前期(△1.5)に比べマイナス4.8ポイントとなり、減少幅が拡大した。

業種別では、建設業で大幅に増加した。来期は小売業、サービス業を除くすべての業種で増加する見通し。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H22年 10~12月	H23年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 10.2	△ 13.4	△ 3.0	△ 1.5	△ 6.3	△ 3.1
製造業	△ 8.4	0.0	9.1	0.0	△ 10.0	10.0
建設業	△ 57.1	△ 37.5	0.0	0.0	△ 33.3	△ 22.2
卸売業	△ 7.7	△ 6.6	7.1	0.0	△ 15.4	△ 7.7
小売業	△ 3.8	△ 3.7	△ 6.9	3.7	0.0	△ 3.8
サービス業	0.0	△ 12.5	△ 5.9	△ 5.9	0.0	△ 5.9

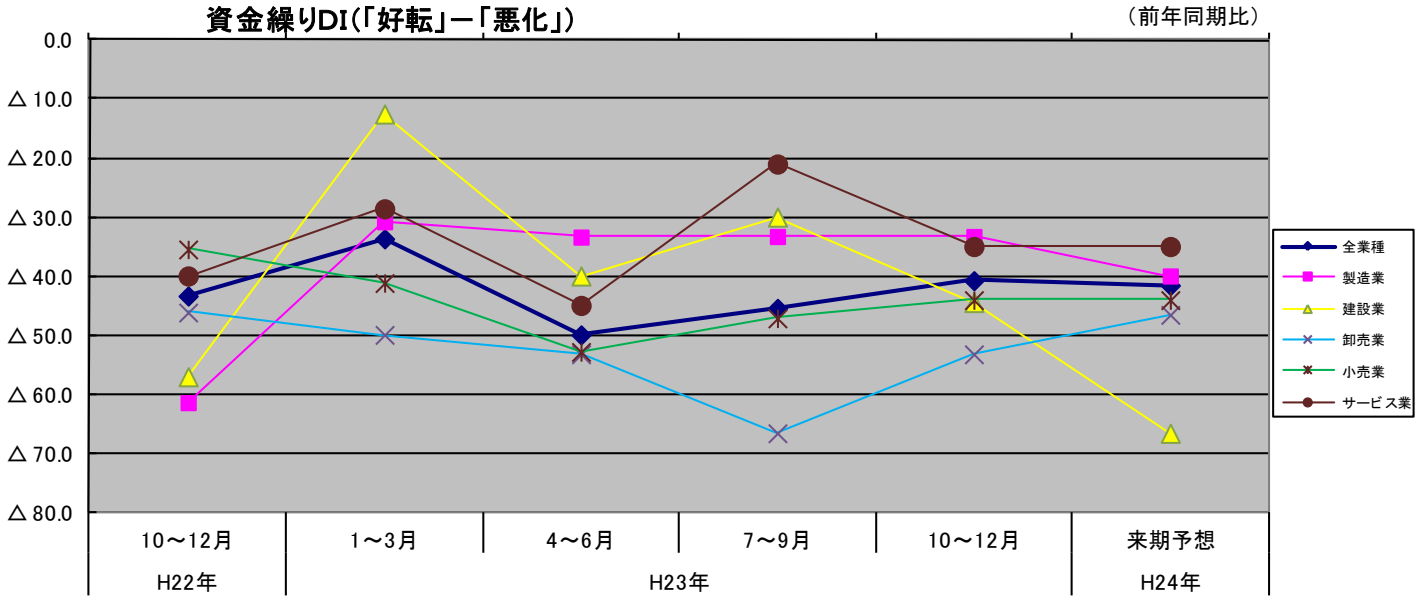


6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△40.8と前期(△45.5)に比べ4.7ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、やや悪化する見通し。

業種別では卸売業において大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられた一方、サービス業、建設業では悪化した。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)		(前年同期比)			
	H22年 10~12月	H23年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 43.4	△ 33.7	△ 50.0	△ 45.5	△ 40.8	△ 41.6
製造業	△ 61.5	△ 30.8	△ 33.4	△ 33.3	△ 33.3	△ 40.0
建設業	△ 57.1	△ 12.5	△ 40.0	△ 30.0	△ 44.5	△ 66.7
卸売業	△ 46.2	△ 50.0	△ 53.3	△ 66.7	△ 53.3	△ 46.6
小売業	△ 35.5	△ 41.2	△ 52.9	△ 47.2	△ 44.1	△ 44.1
サービス業	△ 40.0	△ 28.6	△ 45.0	△ 21.0	△ 35.0	△ 35.0



7. 経営上の問題点

前回調査と比較して、製造業や建設業、卸売業で製品（請負、販売）単価の低下上昇難が新たな問題点として挙げられている。この要因としてタイの大洪水によって現地工場が被災したことによる一連の経済混乱が関係していると思われるため、洪水被害の終息とともに来期以降改善することが期待できる。小売業、サービス業では前回調査に続いて需要の停滞を問題とする事業所が多く、依然として厳しい経済情勢が続いていることが浮き彫りになっている。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	製品単価の上昇難	需要の停滞	原材料価格の上昇	取引条件の悪化	大企業進出競争の激化
	25.0	20.8	12.5	12.5	4.2
	20.0	3.3	10.0	3.3	6.7
建設業	請負単価の低下上昇難	新規参入業者の増加	人件・材料費以外経費増加	民間需要の停滞	材料価格の上昇
	25.0	12.5	12.5	12.5	8.3
	21.4	3.6	3.6	10.7	17.9
卸売業	販売単価の低下上昇難	需要の停滞	仕入単価の上昇	事業資金の借入難	代金回収の悪化
	24.4	24.4	9.8	9.8	7.3
	22.2	22.2	13.9	2.8	8.3
小売業	需要の停滞	消費者ニーズの変化	販売単価の低下上昇難	大企業進出競争の激化	購買力他地域への流出
	20.9	15.1	15.1	8.1	8.1
	20.0	22.4	17.7	5.9	9.4
サービス業	利用者ニーズの変化	需要の停滞	新規参入業者の増加	利用料金の低下上昇難	大企業進出競争の激化
	26.4	24.5	11.3	9.4	7.6
	28.3	28.3	10.9	10.9	6.5